



◎朝霞地区入退院支援ルール完成報告

昨年度は、入退院支援の体制づくりとして、「朝霞地区入退院支援の手引き(入退院支援ルール)」を作成し、すでに地区内の医療、介護関係機関840か所にお届けしました。作成委員の皆様、ご協力ありがとうございました。今年度は、このルールの定着を目指し普及啓発を図っていきます。まず、入退院時情報提供書、本人・家族の方へのチラシのツールを使ってみていただき、意見・感想をお寄せください。

朝霞地区医師会ホームページ(<http://www.asakamed.com>)

地域包括ケア支援室  開設のご案内  入退院支援ルール より

朝霞地区入退院支援の手引き・参考様式はダウンロードできます。



◎朝霞地区の訪問看護ステーションのネットワーク

コロナ禍のまん延防止策の中ではありましたが「第2回訪問看護ステーション推進メンバーの会」を6月に行うことができました。推進メンバーのお世話役として、さくら訪問看護ステーションの鈴木千恵子さんが選任されました。今後は定期的に会を開き朝霞地区の訪問看護ステーションの連携を深め、住民の皆さまのニーズに対応するサービスに繋げることを目的に取り組んでいきたいと思います。

◎ACP(アドバンス・ケア・プランニング)

○医療、介護職へのACP研修会

～映画「人生をしまう時間」を上映予定～

NHK BSスペシャル「在宅死” 死に際の医療” 200日の記録」に新たなシーンを加えた2019年公開された映画

○住民に対するACP啓発

～ACP普及啓発講師人材バンク登録制度～
登録医の先生にご協力をいただき、今年度各市で2回、高齢者サロン等地域に出向いてACPの普及活動を行います。

〈令和3年度登録医〉

朝霞市: 稲生実枝先生(塩味病院)

志木市: 檜原正基先生(柳瀬川ファミリークリニック)

和光市: 木下朋雄先生(和光ホームケアクリニック)

新座市: 堀越洋一先生(堀ノ内病院)

改めてACP(advance care planning)「愛称:人生会議」とは、『将来の変化に備え、将来の医療およびケアについて、患者さんを主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意志決定を支援するプロセスのことです。』

患者さんの人生観や価値観、希望にそった将来の医療およびケアを具体化することを目標にしています。』日本医師会(2018)そして、支援のポイントは日々の対話、丁寧なコミュニケーションが重要とされています。

4月1日からコーディネーターとして着任しました高田幸代です。

地域の皆さまが「住み慣れた地域で自分らしく暮らせる」をモットーに頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

